

# 人材育成

地域が抱える  
課題

## デジタル人材不足

鹿児島県内企業DX推進上の課題→**DXを推進する人材がない**(九州経済研究所、2022)  
10代後半から20代前半における**転出超過**傾向(鹿児島市、2024)  
デジタル技術や活用方法について学ぶ機会の充実や、県内において学びを活かす機会の把握やマッチングの場等の整備も併せて必要。



## デジタルデバイド

住民向けにデジタルサービスを展開した際、利用登録や操作方法に関する問い合わせが殺到する状況がある。**利用者が苦勞**している状況に加え、**サービス提供側にも負担**。  
利用者が困ったタイミングでの相談先がない、電話越しに困りごとの解消は困難など、現状の改善が必要。



## デジタルを知る機会不足

国や民間企業等様々な主体がデジタル人材育成関連の取組(プログラム提供・イベント開催など)を実施しているが、認知されていない・単発開催にとどまるなど、取組をより有効にするためには課題がある。

スマートフォン講習会、体験会等の開催はあるものの、対象者への周知・参加に向けた動機付け等に課題がある。

プロジェクトテーマ  
(R6事業提案)

1. デジタルで**稼げる人材**の育成

2. **デジタル弱者**向け駆け込み  
相談窓口の開設